

現役合格生座談会

教員採用試験に現役で合格した4年生6名が集う座談会を開催。
「いい先生」になるために、日々どのような経験と努力を積み重ねてきたのか。
合格したからこそ話せる想いやエピソードを語り合いました。



— 教員になりたいと思ったきっかけは？ —

教えることや成長を応援することの 楽しさに気付いたから (橋本さん)



橋本さん

もともと器械体操をしていましたが、高校生時代にケガで選手の道をあきらめることに。引退後は、小さい子どもたちに器械体操を教えるボランティアを半年間行いました。子どもたちが「できた!」と笑顔を見せてくれたり、その頑張っている姿を応援したりしていくうちに、小学校教諭になりたいという気持ちが強くなりました。



後藤さん

将来は一般企業の就職も視野に入れていましたが、選択肢を広げるために参加した3年次の教育実習で、先生に抱いていた堅いイメージが良い意味で払拭できました。様々な個性を持つ先生がいることを知り、教員の道に進むことを決めました。



寺田さん

幼いころに、小学校で教員をしている父の姿を見て、「カッコいい!」と思ったことがきっかけです。また、中学生の時に出会った英語の先生が、コミュニケーション活動やグループ活動などを通して、生徒の興味関心を上手に引き出している姿を見て、英語教諭に憧れを抱くようになりました。



— 教職教育推進センターの サポートでよかったことは？ —



寺田さん

教員採用試験に向けた不安や心配事が多く焦っていた時に、教職教育推進センターの先生方が寄り添いながら丁寧に支援してくださったことです。いつでも悩みや質問を聞き入れ、何でも相談に乗ってくれたおかげで、安心して試験に臨むことができました。学びや挑戦を温かく支えてくださる先生方の存在があったからこそ、困難を乗り越えて自信をもって教員をめざすことができました。

どんな時でも暖かく励ましてくれる 教職教育推進センター (世古さん)



世古さん

何か不安なことがあれば、すぐに教職教育推進センターの職員さんが話を聞いてくれるところ。教職教育推進センターに行くこと、どんな時でも優しく温かく対応して下さるので、分からないことがあればすぐに聞いていました。面接試験前日も、教職教育推進センターで不安な気持ちを励ましていただき、最後まで頑張ることができました。また、自治体別の教員採用試験学内説明会や、教員採用試験対策講座、学内模擬試験等、様々な支援が充実していて試験対策に取り組みやすかったです。



橋本さん

私がお本気で頑張りたいと思った分だけ、全力で教職教育推進センターの方々が応援してくれるところです。毎週実施している面接練習や、定期的に更新してくれる教員採用試験のお知らせ配信など、様々な面で手厚い支援を受けることができました。また同じ自治体をめざす同級生たちと自主勉強会を結成したことも、よかったことの一つです。教員採用試験現役合格に向けて、様々な困難も仲間たちと共に励まし合いながら乗り越えたことで、最後まで頑張ることができました。本気で教員をめざしたい方は、是非たくさん教職教育推進センターを頼ってください。

— 学生時代に頑張ったことは？ —



世古さん

インターンシップ、教育実習、ボランティア活動など、子どもたちと触れ合える取り組みに積極的に参加しました。勉強の話ばかりではなく、何気ない日常的な話題を交えながら、子どもたちが心を開いてくれるよう工夫して接していました。



神足さん

私もインターンシップや教育実習に力を入れました。主に保健室で活動を行い、体調不良者への対応や、ケガの応急処置などを通じて実践力を養いました。また、児童養護施設でのボランティア活動では特殊な背景を持つ児童と接し、児童福祉への理解も深められました。

学校現場でたくさん子どもたちと 関わりました (西田さん)



西田さん

私も子どもとの関わりを大切にしたいという思いから、インターンシップの活動や教育実習を頑張りました。子ども達は、私のことを学生であっても「先生」と呼んでくれるので、責任感を持って取り組みました。日々、たくさん子どもたちと関わってきたことで、子どもへの多様な関わり方を学ぶとともに、現場の先生方が子ども一人ひとりとどのように向き合っているのかを間近で知ることができ、「いい先生」としての引き出しが増えたと感じています。



橋本さん

私はゼミでの活動に力を入れました。2年次冬学期という早い段階から、考えた指導案を基に模擬授業を繰り返し、密度の濃い時間を過ごしました。主体的・対話的な学びなど、実際の教育現場に必要なスキルをゼミでたくさん身に付けることで、先生になるための確かな準備ができました。



後藤さん

私は、模擬授業の練習に力を入れて取り組みました。生徒役の友人の反応を見ながら、どのように説明すれば伝わりやすいのか、どんな問いかけなら生徒が考えやすいのかを何度も試行錯誤しました。また、自身も生徒役として友人の模擬授業に参加することで、インプット・アウトプットの両面から学びを深めました。相手に伝えるための言葉選びや発問を工夫する大切さを実感し、授業をする上での基礎を身に付けることができました。

— 四天王寺大学で学べて よかったことは？ —

自ら学び続け、社会に貢献できる 人間として成長できたこと (寺田さん)



寺田さん

やはり、教育現場で豊富な現場経験を積めることが魅力です。たくさん教育現場に携わることで、社会に貢献する意識が高まり、学びの意義を実感することができました。また、2年次から毎週参加するインターンシップの授業などを通して、実際に教員として働く前に、児童・生徒との接し方を学び、自分の長所・短所を知ることができたことがとても良かったと思います。



神足さん

先輩方や卒業生、教職教育推進センターの先生や職員の方など、様々な方々からの支援が充実しているところです。面接や模擬授業の指導だけでなく、教育現場の現状や求められる先生像など、教員になるために役立つ知識や情報も得られました。



後藤さん

模擬授業や指導案づくりなど、実際の現場を意識した授業が多くあり、実践的に学べる環境が整っていたことが良かったです。また、教育実習に向けた準備やその他のサポートも手厚く丁寧に行っていたので、この4年間、安心して学ぶことができました。



世古さん

同じ自治体や校種を受験する仲間たちと出会い、情報を共有し合ったり、励まし合ったりできたことです。特に、自主勉強会の友人たちと一緒に、面接練習や筆記対策などを行ったことが大きな刺激になりました。彼らがいなければ、私の教員採用試験の合格はなかったと思います。



西田さん

小学校教員の免許に加えて、様々な教員免許を取得できる場所です。また、入学後に取得したい免許を選択できることが良かったです。その他、教職教育推進センターの先生や職員の方々が、どれだけ忙しくても相談に乗ってくださったり、廊下などでも見かけられたら気軽に声をかけてくださったりと、学生一人ひとりに丁寧に寄り添ってくれるところがとても魅力です。



祝合格! お話を聞いた現役合格生のみなさん



教育学部 教育学科
小学校教育コース^{※1}
橋本 英奈さん
四天王寺高等学校 出身

大阪市小学校教諭 合格

困り事があれば、まずは教職教育推進センターの先生方に相談を。私たちが本気で教員をめざしているからこそ、経験豊富な先生方も本気で応えてくれます。



教育学部 教育学科
小学校教育コース^{※1}
世古 大貴さん
奈良県立桜井高等学校 出身

奈良県小学校教諭 合格

教員をめざす過程で辛いこともあるかもしれませんが、一人で悩まず頼ることも大切。この大学に在籍する先生方や仲間たちの心強さを実感できるはずですよ!



人文社会学部 日本学科^{※2}
後藤 加菜子さん
大阪府立金岡高等学校 出身

大阪府中学校(国語)教諭 合格

私のように大学進学後に教員をめざしても遅くはありません。進路に迷った時、教職教育推進センターの職員さんに相談してみてください。教員の道が切り拓けるかもしれません。



教育学部 教育学科
英語教育・小学校コース^{※1}
寺田 拓史さん
大阪青凌高等学校 出身

兵庫県中学校(英語)教諭 合格

大学の学びは知識を深めるだけでなく、人との関わりを通して他者を理解し、思いやりの心を育む時間でもあります。ぜひ理想の先生像に向かって前進してください。



教育学部 教育学科
保健教育コース^{※1}
神足 優衣さん
大阪府立金岡高等学校 出身

堺市養護教諭 合格

養護施設の採用は倍率が高く、何度もあきらめかけました。そのたびに「なぜ児童・生徒を支えたいのか」を思い出して奮起しました。思い悩んだ時は、原点に立ち返ってください。



教育学部 教育学科
小学校教育コース^{※1}
西田 菜々花さん
大阪府立堺東高等学校 出身

東京都特別支援学校教諭 合格

私は児童・生徒一人ひとりに安心を届けられる教員になりたいと思っています。みなさんも自分の思いや考えを大切に、自分らしい先生をめざしてください。